

2021年6月現在



TOYOTA 8Y7

補修塗装工程

クロマックス[®] プロベースコート

ボカシ塗装

Cromax[®] Pro
BASECOAT

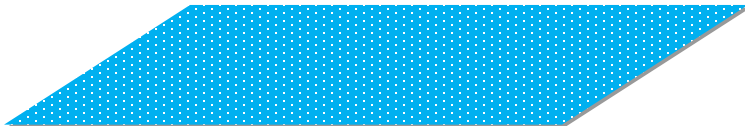
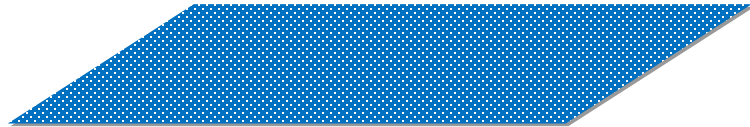
AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

TOYOTA 8Y7 補修塗装工程

補修塗膜構成



乾燥, スカッフング



通常通りにサンディング・前処理



セルフリストアリングクリヤー対応クリヤー

8Y7 カラークリヤー

8Y7 ミッドコート(WB9920)

8Y7 グランドコート(WB9910)

2K サフェーサー

プライマー (金属露出部)

素地

TOYOTA 8Y7 補修塗装工程

混合比



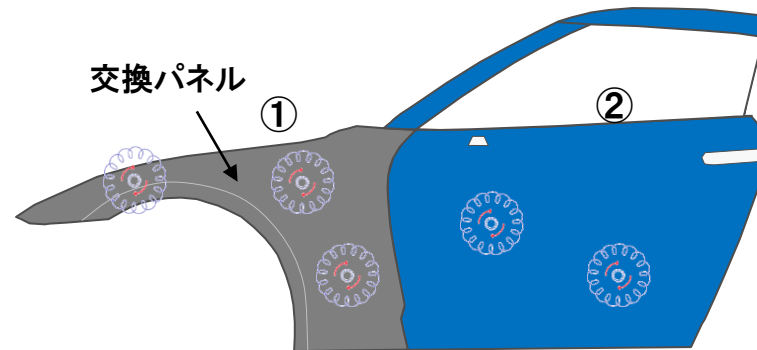
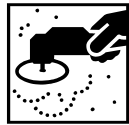
8Y7 グランドコート (WB9910)	WB2075	WB2040/WB2045
100	5	20

8Y7ミッドコート (WB9920)	WB2040/WB2045
100	20

カラークリヤー※	硬化剤	シンナー
使用するクリヤーのTDS参照		

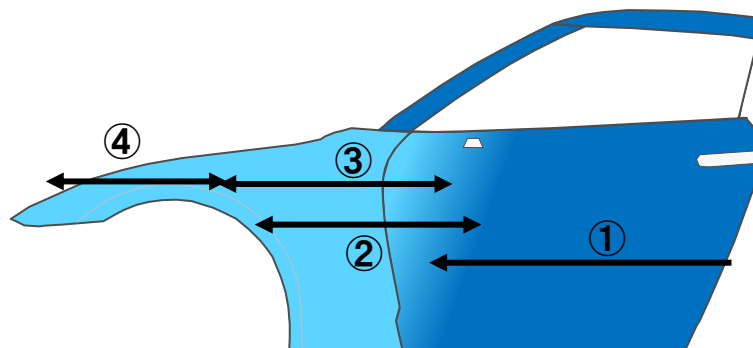
※ カラークリヤー混合
クリヤー:8Y7専用アディティブ=98:2

前処理



- ① 交換パネルに2KサフェーサーをTDSIに従い塗装し乾燥、研磨。
- ② 隣接パネルを通常通り前処理。

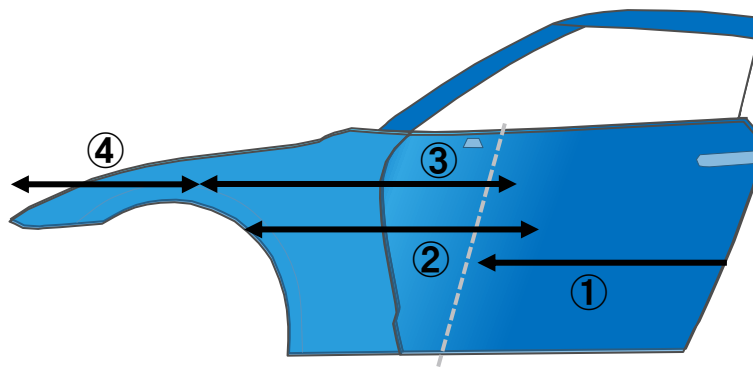
8Y7グランドコート(WB9910)



- ① 通常どおりブレンダーを塗装(WB2075を5%混合済み)
- ② グランドコート1コート目を最終塗装範囲までボカシ塗装。
- ③ グランドコート2コート目を1コート目の内側にボカシ塗装。フェンダーに広げる。
- ④ フェンダーに通常通りグランドカラーを塗装。
- ⑤ 艶が消える迄フラッシュオフしタッククロス。

注意: 隣接パネルへの過度なオーバーミストは避ける。

8Y7ミッドコート(WB9920)

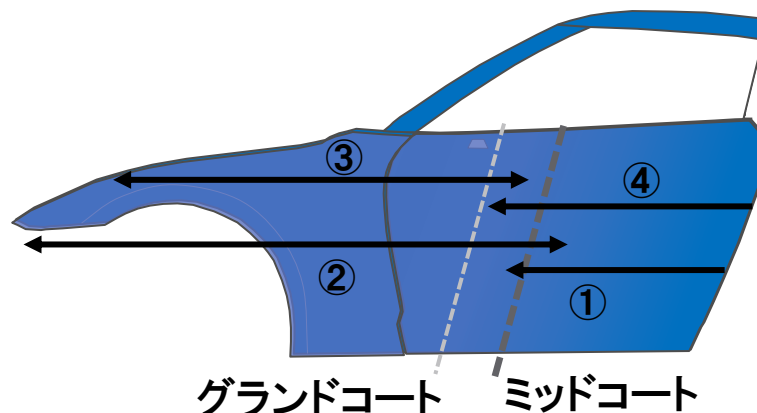


グランドコート

- ① 通常どおりブレンダーを塗装
- ② ミッドコート1コート目をグランドコートの塗装範囲を超えて最終塗装範囲迄ボカシ塗
- ③ ミッドコート2コート目を1コート目の内側に塗装。(グランドコートを超えている事。)フェンダーに広げる
- ④ フェンダーに通常通りミッドコートを塗装。
- ⑤ 艶が消える迄フラッシュオフしタッククロス。

注意:ミッドコートは3コートパールカラーのパールベースの塗装要領で塗装。

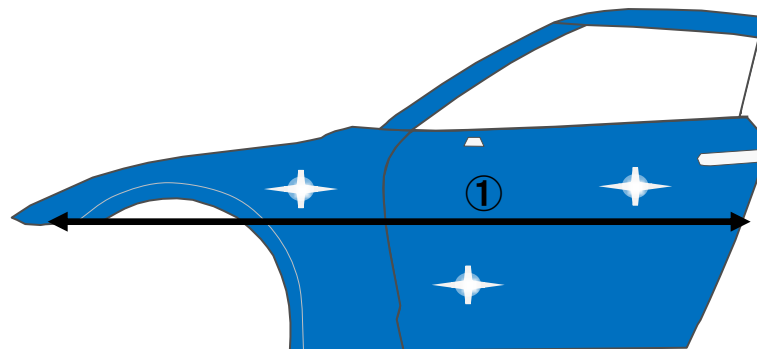
カラークリヤー



- ① 通常クリヤーをボカシパネル外側からミッドコートを若干超えて塗装。
- ② 続けてカラークリヤー1コート目を交換パネルとミッドコート塗装範囲を若干超えてボカシ塗装。先に塗装した通常クリヤーに馴染ませる。フラッシュオフ
- ③ カラークリヤー2コート目を1コート目の内側にボカシ塗装。グランドコートのボカシ範囲を若干超えること。
- ④ 続けて通常のクリヤー2コート目をボカシパネル外側からカラークリヤー2コート目のエッジ部分迄塗装し馴染ませる。フラッシュオフし乾燥。
- ⑤ 乾燥・冷却後、パネル全体をP1000より細かい番手で足付け研磨。

注意: カラークリヤーは色ムラを防ぐ為、通常クリヤーよりガン距離を離し塗装する

セルフリストアリングクリヤー対応クリヤー



- ① パネル全体にセルフリストアリングクリヤー対応クリヤーコートを塗装し乾燥。

TOYOTA 8Y7 補修塗装工程

注意事項



- カラークリヤーのフラッシュオフ、乾燥時間は使用するクリヤーのTDSに従ってください。
- カラークリヤーは8Y7専用アディティブを混合してください。
クリヤー：8Y7専用アディティブ=98:2
- グランドコート(WB9910)とミッドコート(WB9920)は配合ずみパッケージカラーとなります。
(水性ベースコートのみ)

SHINE ON.

CROMAX IS AN AXALTA COATING SYSTEMS BRAND

